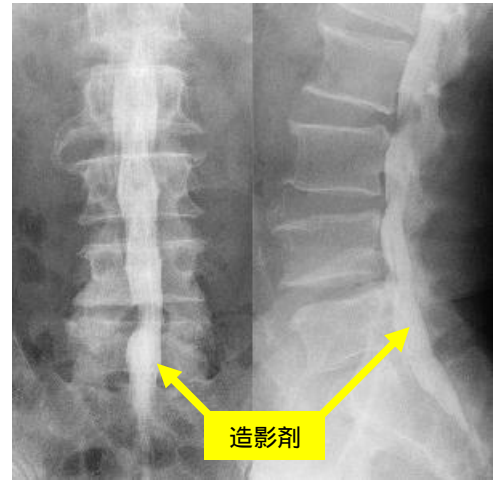


ミエログラフィー（脊髄腔造影）

ミエログラフィー（脊髄腔造影）はクモ膜下腔に造影剤を注入し、エックス線で透視・撮影を行い脊髄管の形状、障害を調べる検査です。

脊髄管狭窄症や椎間板ヘルニアの代表的な検査としてMR検査が挙げられますが、ミエログラフィーはMR検査では捉えきれない脊髄管の様子を詳しくみることができます。

そのため姿勢を変えたときの脊髄管の変化も診断することができ、特に手術による治療計画を建てる上で重要な検査です。



腰椎ミエログラフィー

検査方法

検査台に横向きで寝ます。

針を刺す位置を消毒した後、背中を丸めます（おへそを見るように）。

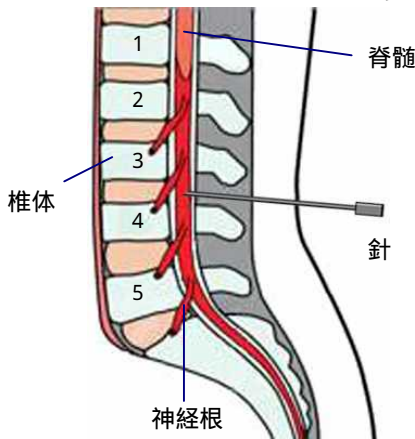
始めに皮膚に麻酔（痛み止め）をします。

背中から針を刺し造影剤を脊髄腔に注入します。

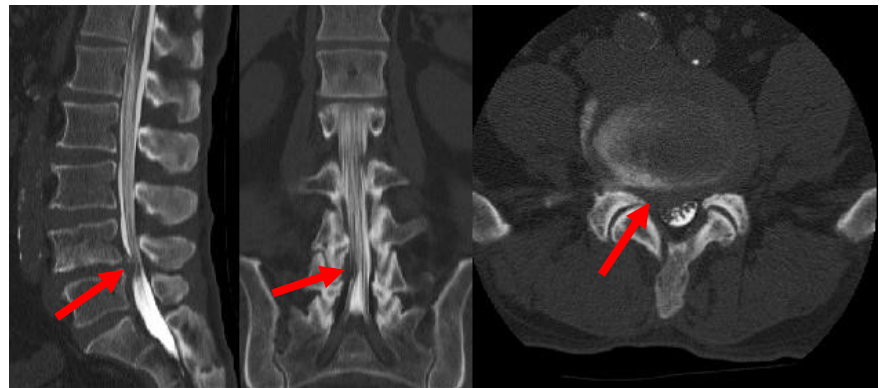
その後エックス線で脊髄腔の様子を見ながら何度か体勢を変えていき、写真を撮影していきます。

最後により詳しく見るためにCT検査を行います。

痛みの場所を特定するためミエログラフィーに引き続き、疼痛の原因神経根を造影して痛み止めを注射するルートブロックを行うことがあります。



腰椎ミエログラフィーの様子



腰椎ミエログラフィー後CT 左から矢状断、前額断、横断
赤い矢印は椎間板ヘルニア

検査後

基本的に検査当日は1日入院して様子をみます。検査が終わった後は頭をあげてしばらく安静にしてください。まれに合併症で頭痛が出現することがあります。

造影剤は注入後、徐々に体内に吸収され約24時間で尿としてほとんど排泄されます。

検査費用

3割負担の場合の窓口お支払金額は約7,000円～10,000円です。